



日刊報... 新刊

軍事後援會の寄附

一萬三千四百四十圓 慰問支出既に千八百余圓

平市軍事後援會は市内各區の割當て贈金及び特達者の寄附を合せて現在資金一萬三千四百三十九圓九錢に達し内出征軍人の遺族並びに同關係の支出一千八百四十圓六十九錢を算してゐるが来る十一月また重ねて應召軍人家族に對し愛國婦人會、國防婦人會、女子青年團、平婦人會、市役所員を組んで各分擔の下に慰問される筈であつて最近市内上平窪から二百二十九圓五十錢の割當寄附を納入されたが寄附者の氏名を上れば左記の如くである

- 金二十圓 鈴木庄作 金十圓 鈴木忠三郎 根本丑松 金成武義 金八圓 鈴木庄之助 六圓 鈴木多次郎 五圓 國部直久 薄葉竹松 薄葉菊次郎 高橋義惠 三圓 根本龜次郎 永井良篤 小川定一 二圓 根本長平 金成雅義 金成徳治 大須賀武義 白土一郎 金成清重郎 金成忠七 根本徳吉 金成清保 大須賀周平 薄葉駒之助 金成行綱 薄葉庄憲 大平繁春 林未代守 一圓五十錢 薄葉庄金 一圓 金成留次郎 薄葉義雄 野野長明 草野武雄(以上)

飽まで片濱線を熱望す

市民を愚弄するな 事程左様に健忘性ではない 鹿爪らしい感情脱の言

平小鐵道の敷設に對し關係部は市民多數の憤慨の中に深く民を擧げて念願し來たつたを運動の途上去年十月初旬の平市彌縫の旨もこれを掃去し能は會が石城郡下町村並に沿線關係部との協力提携を撤一方ならす或は巧言を以て自説し共同協定の義を破つて自紙還元と稱する變形主義を市會に於ける所謂一派の上つて造り上げられ一昧多數の委員等が念願放棄の陣情を披へ其の力なきも一つである上京運動をなしたる幹事狂態

常識講座

デイーンは高價なる、いとしき、愛らしき、大切のと云つた謂だが、テイアと云へば涙のことだ、テイアフルは涙つぽい、涙に充てる意でテイアレスは涙なきこと、無情なことだ

軍事後援會の慰問費

九月七日からの支出額

平市軍事後援會が今次奉變の出征軍人家族に對し統後の慰問に努めてゐることは屢報の如く一萬三千餘圓の資金を得て既に一千八百四十圓六十九錢を慰問その他に支出してゐるが費途の概要を上げれば次の如くである

- 九月七日出征軍慰問に三百十三圓 同月廿四日同 二百圓 同月十四日同五百五十四圓 出征軍家族内の葬儀に十三圓 同近火見舞に四圓 出征軍家族生活困難者に對する臨時給與三十八圓 他國應召者旅費十圓 扶助料十五圓 本報後援會に贈金七百九圓 其の他七十二圓六十九錢(以上)

平市防護團の結成式

来る十一日 平市では来る十一日午後一時から市會講堂に消防、青年團、警察委員、醫師會、看護會、小學校職員、在郷軍人會、軍友會等各幹部を招集し防空演習施行に關して協議の後防護團の結成式を挙げる

職業指導週間と

會員より成る女子部を結成し應召軍人家族の慰問その他統後の活動をなすと 會長畑寅吉 副會長平本エ

平の職業紹介所 施行計畫の主なるもの

来る十日から向ふ七日間の職業指導週間に於ける平職業紹介所は湯本職業紹介所と共に實行計畫を立てゝゐるが第一日は午前十時から湯本職業紹介所に石城郡下連路小學校關係者を招集し事務打合せ會を開いて今回關係に對して設置された就職指導員の内務を求め務に應召軍人家族の就職に對して力を入れる協議をなす筈であるが尙ほ平職業紹介所では期間中に於て同所附設に係る就職者五ヶ年以上の勤続者に賞状と記念品を贈る外來奉養親の小學高生に對し週間の趣旨並びに職業指導の指針を印刷に付したパンフレットを郡下全校に配付する由である

竣工検査

石城郡四倉町の水道工事は過般完成し翌期の通り給水をなしてゐるが縣から黒岩技師並びに折笠出雲出雲功検査及び工費清査中である同検査は来る十一日頃終る見込の由

血染の日章旗

友人の熱誠から 石城郡勢崎村長倉嶺合宿所石井貞一(三)君は目下上海戦線に奮闘してゐる兩角部隊下の伍長伊藤利雄君の武運長久を祈り自分の体から廿七グラムの血液をとつて血染の日章旗をつくり福島縣隊を経て同伍長の許に贈つた

皇軍へ慰問袋

平市宇北白銀町四〇難波有子さんは今九日皇軍に對する慰問袋一個を寄附した

神谷消防に金馬

石城郡神谷村消防組では金馬三十三條を有する榮譽をもつてゐるが今回また全組員

酒を飲み

軍事扶助で 金を遺失して脅迫される 石城郡内郷村の竹の内警城税務坑夫本郷三郎(四)は伴の出征で生活に困るところへ村役場から廿四圓七十五錢の軍事扶助を受けたが六日過ぎた途上自宅前に至つて現金廿二圓五十錢を紛失しそれを拾つた同村阿部次郎(五)が盗匿し右を聞き込んだ村内の坑夫高島末松(〇)が本郷を訪ねて軍事扶助金を酒を飲むと怪しからぬと脅したことを平署に發覺し阿部と高島は名喚取調中

三丁目の小火

佐川洋服店方から 平市三丁目佐川洋服店方二階から昨八日午後九時頃出火し大事に至らんとするを發見した家人によつて消止めたが原因は同店火前二階押入の暗がり物品を探した事であるものゝ如きも其の際燈を用ゑなかつたと家人が語り出火の場所は同所なので目下平署の調査中である

坑夫重傷死亡

石城郡湯水町の入山坑夫小室昇(四)は去る七日午前零時半頃坑内作業中支柱と共に倒れて脊骨を折傷し間もなく絶命した

災害査定

平土木監督所管内に於ける災害工事施行現地の査定は既報の如く去る六日から内務省中村技手、縣土木課の阿部技師及び加藤、草野の兩技手等により行はれたが道路五ヶ所、

庶業方面

飼育難の 銀黒キツネ

二十ヶ年開バカさ
れたやうな苦心談
そこを初めはその方面の難
威者である渡瀬理學博士を
顧問に秋南氏が飼育主任と
してこの過期的な仕事を命
がけでやることに決定いた
しましたカナダのロージヤ
ーズ、コムパニーから七番
の銀狐が外人付添えで到着
し一と通りの飼育法を不完
全ながら教へられて急よ初
めました。

翌六年春はじめて繁殖時期を
迎へ七番の三四番は買の旅の
疲れで駄目、残る三番が役立
つて三腹から三頭づゝ生れた
會社でも大喜びで大切に育て
離乳してさて人口飼育に移り
二十日ほどすると發育が面白
くない、お腹がふくれて下腹
がクチャ／＼してゐる、これ
は大敵の蛔虫にやられてゐる
らしいと渡瀬博士と相談した
が外國には狐専用の驅虫劑も
あると云ふけれど今から注文
して見たところ、間に合はな
い、東京の大學で驅虫劑を調
製してもらひ、これを錠劑に
して試みに一頭に体重を計つ
て加減して與へて見たところ
三十分経たぬうちに副作用で
泡を吹き輝レンを起して死ん
でしまつた、大騒ぎでヒマシ
油の洗滌や消毒をしたが駄目
であつた。

今度は藥を三分の一にして
服ましたが効能がない、二
分の一にして與へると二時
間ほどで出た、蛔虫が四
百匹以上も出た、その次ぎ
には藥の外にヒマシ油をや
ると一時間二十分が出た、
やれよかつたと思つたら今

炭はウイタミンの欠乏で骨
軟症に罹り惜しくも六時死
して結局八頭無事に育つた

藤沢醫院
平市細屋町 電五〇七

産科 院長 **木村寅次郎**
婦人科 醫學博士 **内木宗八**
外科 藥劑師 **大岩俊雄**
藥局 藥劑師 **大岩俊雄**

平市新田町九一
入院隨意 **木村病院**
病室完備 電話一六四

「看護見習募集」
明雲堂眼科醫院 (電話六六九)
平田町 (三丁目裏川岸通)
入院應需 (自炊の便あり)

愈々防寒具の御用意を！
秋-冬-秋
大人 子供
帽子
毛糸服
用 毛シャツ
綿製品
ツルヤ
平四・電一四〇

生公堂
山野邊藥局
五丁目角
八〇〇瓦入 五十個
四〇〇瓦入 九十五個
四七五瓦入 四十五個
四七五瓦入 四十五個

專 門 泌尿器科
皮膚科
性病科
診療時間 午前八時より
午後九時まで
醫學博士 **江尻伊三郎**
中市田町 電話六九一

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
九九・九電

産科、婦人科専門
根本醫院 (平市南町)
病室入院 隨時 根本庄次郎
増築手術室完備 根本貞雄

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
中市大工町 電話五九一

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店 關内正
平町二丁目 電話一六番
事務取扱者 阿部助次郎

診療科目
一、齒科 一、外科
保存科、補綴科、總務科、
齒列矯正科、小兒齒科、齒科
一、口腔外科
一、レントゲン科

中市田町 (松月堂向ひ)
中野齒科醫院
院長 日本齒科 醫學士 中野惠次
日本齒科 醫學士 西川誠
電話五〇九

便利で 經濟な **日下家政婦會**
派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから
何をお任せしてもご安心です
中市田町八西村屋敷町
會長 日下すい子
電話七二三番

横山商店
債券部
町間仲市平
〇一六〇東京營業部
番一七二話電

一般印刷物も御引受致します
新しいわき新聞社